

◆北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた推薦を求める意見書

◆教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元を求める意見書

◆地方財政の充実・強化を求める意見書

◆地方消費者行政に対する財政支援（交付金等）の継続・拡充を求める意見書

第4回臨時会

平成30年第4回臨時会を5月14日（月）に開催し、市長より、報告2件、議案13件が上程され、採決の結果、原案のとおり同意・可決されました。

第4回臨時会に提案されました議案の審議結果につきましては、8ページに掲載しております。

今臨時会において、同意された人事案件は次のとおりです。

○教育委員会委員

吉田 孝子 氏

（新任）

○固定資産評価審査委員会委員

馬淵 大三 氏

（再任）

主な議案の審議内容

工事請負契約の変更について（新）鹿角市学校給食センター建設工事（厨房設備工事）

質問

厨房機器の仕様変更により契約金額が変更になるということだが、変更内容の詳細について伺う。

答弁

当初、給食用食器として、平たい西洋皿を2種購入する予定でありましたが、これら食器を共用できるような丼碗を購入することとし、これに関連し食器洗浄機械のレーンを1本削減することが可能となったことによるものであります。

第4回臨時会の概要

議会の映像をぜひご覧ください

議会だよりには、会議の一部を掲載しております。本会議の様子は、インターネットからライブ中継や録画中継を視聴することができます。

また、各庁舎市民ロビーのテレビでも本会議を視聴することができます。

質問した項目

■平成30年度の重要施策について ■教育環境の変化と登下校の安全対策について ■子ども会活動について ■スキーと駅伝のまちの推進について ■道の駅おおゆについて

児玉 政明 議員

（鹿真会・公明）



プログラミング教育について

問

2020年の新学習指導要領において必修化が進められるが教育の狙いを伺う。

答

プログラミング的思考は、自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要で、一つ一つの動きに対応した記号をどのように組み合わせたいのか、記号の組合せをどのように改善していけばいいか、といったことを論理的に考えていく力を育成することにあります。

不審者からの安全対策について

問

近年の不審者の目撃情報の内容と目撃情報があった場合に地域が一体となり注意見守りするためにも市のメールによる配信ができないか伺う。

答

鹿角地域生徒指導研究推進協議会による不審者情報件数は平成27年度7件、平成28年度8件、平成29年度6件となっており、平成29年度の内訳は声かけが3件、カメラ等による撮影が2件、不審行動が1件となっております。

道の駅おおゆについて

問

オープンから1カ月を経過したが効果と課題について伺う。

答

建物のデザインや機能に高い評価をいただいている一方、産直スペースに品数が少ないことや団体が利用できるレストランが欲しいなど、さまざまな意見や要望が寄せられておりますが、大湯地域への多くの集客により、飲食業を中心に賑わいがもたらされていることに加え、市全体でも道の駅かづのとの相乗効果により地域の周遊性が向上し、大きな波及効果を生み出しているものと捉えております。

一般質問

児玉政明議員（鹿真会・公明）